

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-105172

(43)Date of publication of application : 15.04.1994

(51)Int.Cl.

H04N 1/44

H04N 1/00

(21)Application number : 04-252636

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 22.09.1992

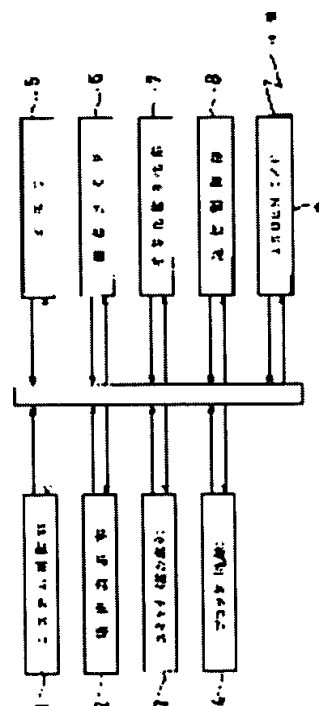
(72)Inventor : SASAKI JUN

(54) FACSIMILE EQUIPMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the operability and reliability by transferring picture data having been stored in a memory through confidential reception to other facsimile equipment to allow the other facsimile equipment to receive the data on behalf of the facsimile equipment when a residual capacity of the memory being a component of the facsimile equipment is less than a prescribed capacity.

CONSTITUTION: The facsimile equipment consists of a system control section 1, an operation display section 2, a scanner 3, a plotter 4, a memory 5, a picture memory 6, a coding decoding section 7, a communication control section 8 and an interface 9. Through the constitution above, when the residual capacity of the memory 6 is less than a prescribed capacity, picture data having been stored in the memory 6 through confidential reception are transferred to other facsimile equipment to allow the other facsimile equipment to receive data on behalf of the facsimile equipment. Thus, an undesired state such as intermission of picture data during confidential reception and awaiting recovery of the memory capacity by intermitting the confidential reception is avoided and automatic reception of picture data subjected to substitute reception is attained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-105172

(43)公開日 平成6年(1994)4月15日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 N 1/44

1/00

識別記号

1 0 4 B

庁内整理番号

2109-5C

7046-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4(全 7 頁)

(21)出願番号 特願平4-252636

(22)出願日 平成4年(1992)9月22日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 佐々木 潤

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式

会社リコー内

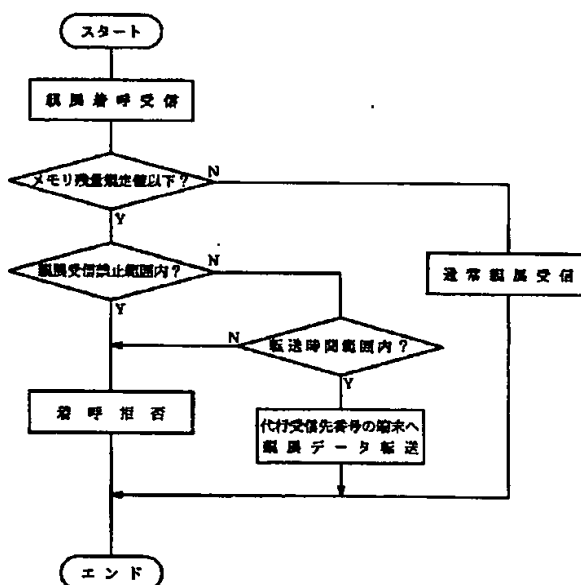
(74)代理人 弁理士 大澤 敬

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 親展受信中の画データが途中で切れてしまったり、送信側のファクシミリ装置が親展受信を中断して受信側ファクシミリ装置のメモリ容量の回復を待たなければならなくなるようなことを解消する。

【構成】 メモリ残量が規定値以下になった時に、現時点が親展受信禁止範囲外で且つ転送時間範囲内であれば、親展受信した画データを代行受信先番号のファクシミリ装置に転送して代行受信させ、現時点が親展受信禁止範囲内あるいは転送時間範囲外であれば親展受信を不可にする。また、メモリ容量が回復した時点で先に代行受信させた画データを自動的にボーリング受信で引き取り、メモリに格納する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 親展受信が可能なファクシミリ装置において、メモリ残量が所定容量より少なくなった時、親展受信してメモリに記憶している画データを他のファクシミリ装置に転送して代行受信させる手段を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1記載のファクシミリ装置において、メモリ容量が回復した時点で先に代行受信させた画データを自動的にポーリング受信で引き取り、メモリに格納する手段を設けたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1又は2記載のファクシミリ装置において、前記代行受信させる手段が、親展受信した画データの転送時間を定められ、前記転送時間内にのみ親展受信した画データを転送して他のファクシミリ装置に代行受信させ、該時間外の時は親展受信を不可にする手段であることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 親展受信が可能なファクシミリ装置において、親展受信した画データを記憶するメモリ残量が所定容量より少なくなった時、親展受信を不可にする手段を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、親展受信が可能なファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】ファクシミリ装置には、親展受信機能を有し、送信元のファクシミリ装置から親展受信した画データ及び親展IDをメモリに記憶し、受取人によって親展IDが入力された時のみそのIDと共に記憶している画データをプリントアウトするようにしたものがある。

【0003】このような従来のファクシミリ装置は、親展受信時には通常画データを受けられるところまで（メモリがフル状態になるまで）受けて、メモリオーバーになると画データを捨てたり、あるいは送信側のファクシミリ装置にビジーを返してメモリ容量の回復を待って残りの画データを受信するようにしていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前者の場合にはプリントアウトした画データが途中で切れてしまい、必要な情報が得られないという不都合があった。また、後者の場合には受信側のファクシミリ装置のメモリ容量がいつ回復するのか判らないため、送信側のファクシミリ装置は送信を終えるまでに多くの時間を要してしまうこともあり、その間発呼動作を何回も行なわなければならない。

【0005】この発明は上記の問題点を鑑みてなされたものであり、親展受信中の画データが途中で切れてしまったり、送信側のファクシミリ装置が親展受信を中断し

て受信側ファクシミリ装置のメモリ容量の回復を待たなければならなくなるようなことを解消し、操作性及び信頼性の向上を計ることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明は上記の目的を達成するため、親展受信が可能なファクシミリ装置において、メモリ残量が所定容量より少なくなった時、親展受信してメモリに記憶している画データを他のファクシミリ装置に転送して代行受信させる手段を設けたものである。

【0007】なお、メモリ容量が回復した時点で先に代行受信させた画データを自動的にポーリング受信で引き取り、メモリに格納する手段を設けるとよい。また、代行受信させる手段が、親展受信した画データの転送時間を定められ、その転送時間内にのみ親展受信した画データを転送して他のファクシミリ装置に代行受信させ、該時間外の時は親展受信を不可にするといふ。さらに、親展受信した画データを記憶するメモリ残量が所定容量より少なくなった時、親展受信を不可にする手段を有するファクシミリ装置も提供する。

【0008】

【作用】請求項1～3のファクシミリ装置によれば、メモリ残量が所定容量より少なくなった時、親展受信してメモリに記憶している画データを他のファクシミリ装置に転送して代行受信させるので、親展受信中の画データが途中で切れてしまったり、送信側のファクシミリ装置が親展受信を中断して受信側ファクシミリ装置のメモリ容量の回復を待たなければならなくなるようなことがなくなり、操作性及び信頼性が向上する。

【0009】なお、メモリ容量が回復した時点で先に代行受信させた画データを自動的にポーリング受信で引き取り、メモリに格納するようにすれば、画データを代替受信したファクシミリ装置の設置場所までその画データを印刷した用紙を取りに行かなければならないという煩わしさがなくなる。また、親展受信した画データの転送時間を定め、その転送時間内にのみ親展受信した画データを転送して他のファクシミリ装置に代行受信させ、その時間外の時は親展受信を不可にするようにすれば、必要なときに画データがない状態を回避でき、より操作性の向上が計れる。

【0010】請求項4のファクシミリ装置によれば、親展受信した画データを記憶するメモリ残量が所定容量より少なくなった時に親展受信を不可にするので、それ以上メモリエリアの空き容量が減らなくなり、親展以外の画データの受信を行なえる。

【0011】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面に基づいて具体的に説明する。図2はこの発明の一実施例を示すファクシミリ装置のブロック構成図であり、システム制御部1、操作表示部2、スキャナ3、プロッタ4、メモリ

5、画像メモリ6、符号化復号化部7、通信制御部8、及びISDNインタフェース（以下「インタフェース」を「I/F」という）9を備えている。

【0012】システム制御部1は中央処理装置であり、このファクシミリ装置全体の制御処理を実行する。操作表示部2は、このファクシミリ装置を操作するための種々の操作キー及びLCDからなる。スキャナ3は、その読み取り面上を搬送される原稿の画像を所定の解像度で読み取って画データを出力する。

【0013】プロッタ4は、画像メモリ6に格納される画データを記録するためのものである。メモリ5は、シ

*システム制御部1が動作するための制御処理プログラムや種々のデータ及び固有情報等を記憶するためのものである。画像メモリ6は、符号化復号化部7で符号化圧縮された画データを蓄積するためのものである。

【0014】符号化復号化部7は、画データを符号化圧縮及び元の画データに複合化するものである。通信制御部8は、ISDN I/F 9を介して通信網との通信制御を行う部分である。表1に、メモリ5に記憶されているこの発明に係わる情報を示す。

【0015】

【表1】

情報1	情報2	情報3	情報4	情報5
メモリ残量規定値	代行受信先番号	親展ID	転送時間範囲	親展受信禁止時間範囲

【0016】その情報1～5は、それぞれ以下の目的のために使用される。

情報1：メモリ残量規定値

画像メモリ6の残量がその残量規定値以下になったとき、親展データ（画データ）の代行受信や親展データの受信禁止判定が行なわれる。これ以前は、通常の受信が行なわれる。

【0017】情報2：代行受信先番号

この宛先へ、親展データを代行受信させる。

情報3：親展ID

このIDが、親展データの秘匿番号である。このIDで、親展データの転送や引き取りが行なわれる。

【0018】情報4：転送時間範囲

この時間内に画像メモリ6の残量が規定値以下になったとき、親展データの代行受信が行なわれる。この情報には、日付けや曜日及び開始から終了の時間範囲情報が含まれる。

【0019】情報5：親展受信禁止時間範囲

この時間内に画像メモリ6の残量が規定値以下になったとき、親展受信が禁止される。これにも、転送時間範囲と同一の情報が含まれる。なお、転送時間範囲と親展受信禁止時間範囲の組み合わせで、種々の設定が可能となる。

【0020】図1は、図2のシステム制御部1によるこの発明に係わる処理を示すフローチャートである。他のファクシミリ装置から親展着呼受信がなされると、画像メモリ6の残量が規定値以下か否かをチェックし、規定値以下でなければ通常の親展受信を行なうが、規定値以下の場合には現時点が親展受信禁止範囲内であるか否かをチェックする。

【0021】そして、現時点が親展受信禁止範囲内であれば、今度は現時点が転送時間範囲内か否かのチェックを行ない、転送時間範囲内であれば図3の（a）に示すように送信側のファクシミリ装置（端末A）から送られてくる親展データを代行受信先番号のファクシミリ装

置（端末B）へ転送して代行受信させる。

【0022】一方、現時点が親展受信禁止範囲内あるいは転送時間範囲外の場合には、送信元のファクシミリ装置（端末A）からの着呼を拒否して親展受信を禁止し、図3の（b）に示すようにそのファクシミリ装置（端末A）からの親展送信が行なわれないようにする。

【0023】図4は、図2のシステム制御部1によるこの発明に係わる他の処理を示すフローチャートである。画像メモリ6の容量が回復して親展受信禁止範囲内でない場合には、図3の（c）に示すように代行受信先のファクシミリ装置（端末B）へ発呼し、ポーリング受信で親展データを引き取って図2に示した画像メモリ6に格納する。

【0024】このように、この実施例によれば、画像メモリ6の残量が所定容量より少なくなった時、親展受信して画像メモリ6に記憶している画データを他のファクシミリ装置に転送して代行受信させるので、親展受信中の画データが途切れてしまったり、送信側のファクシミリ装置が親展受信を中断して受信側ファクシミリ装置のメモリ容量の回復を待たなければならなくなるようなことがなくなる。

【0025】また、代行受信させた画データを自動的に引き取るので、代行受信先のファクシミリ装置の設置場所に画データを印刷した用紙を引き取りに行かずに済む。さらに、転送時間範囲を定めたので、必要なときに画データがない状態を回避できる。さらにまた、親展受信禁止時間範囲を定めたので、メモリ不足の状態を回避できる。

【0026】

【発明の効果】以上説明してきたように、この発明によれば、親展受信中の画データが途中で切れてしまったり、送信側のファクシミリ装置が親展受信を中断して受信側ファクシミリ装置のメモリ容量の回復を待たなければならなくなるようなことを解消でき、操作性及び信頼性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】図2のシステム制御部1によるこの発明に係わる処理を示すフロー図である。

【図2】この発明の一実施例を示すファクシミリ装置のブロック構成図である。

【図3】図2の実施例の作用説明に供する説明図である。

【図4】図2のシステム制御部1によるこの発明に係わ*

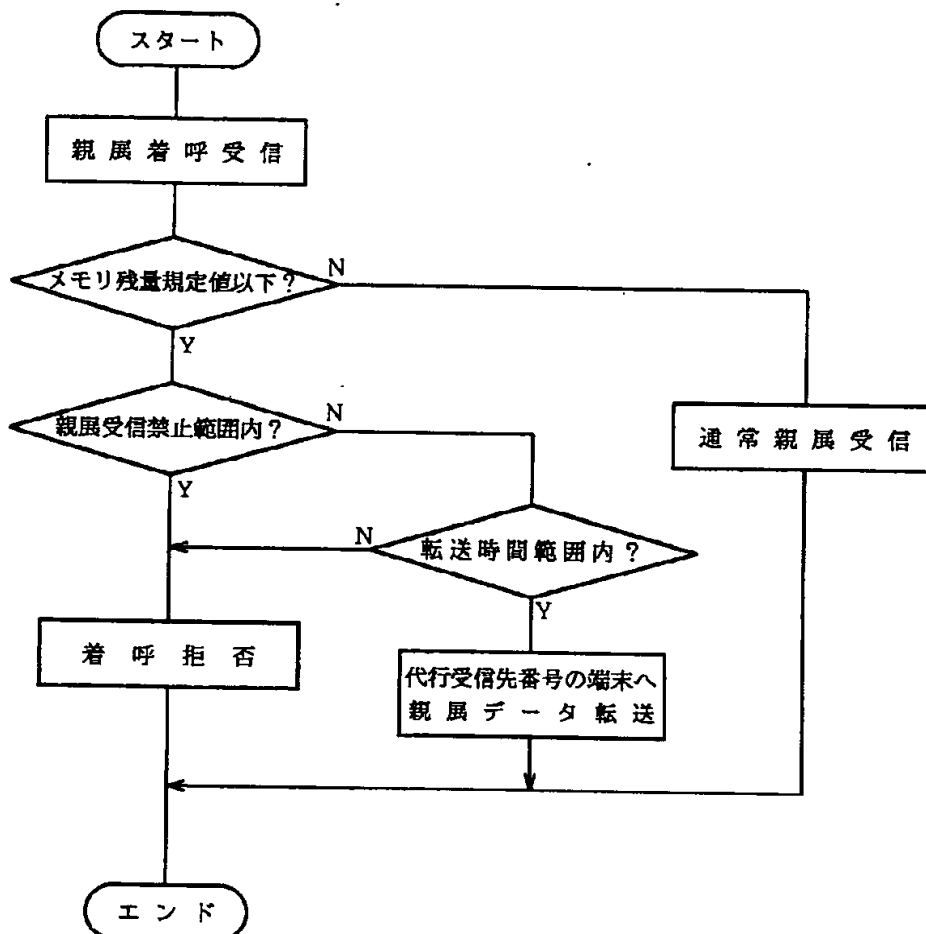
*る他の処理を示すフロー図である。

【符号の説明】

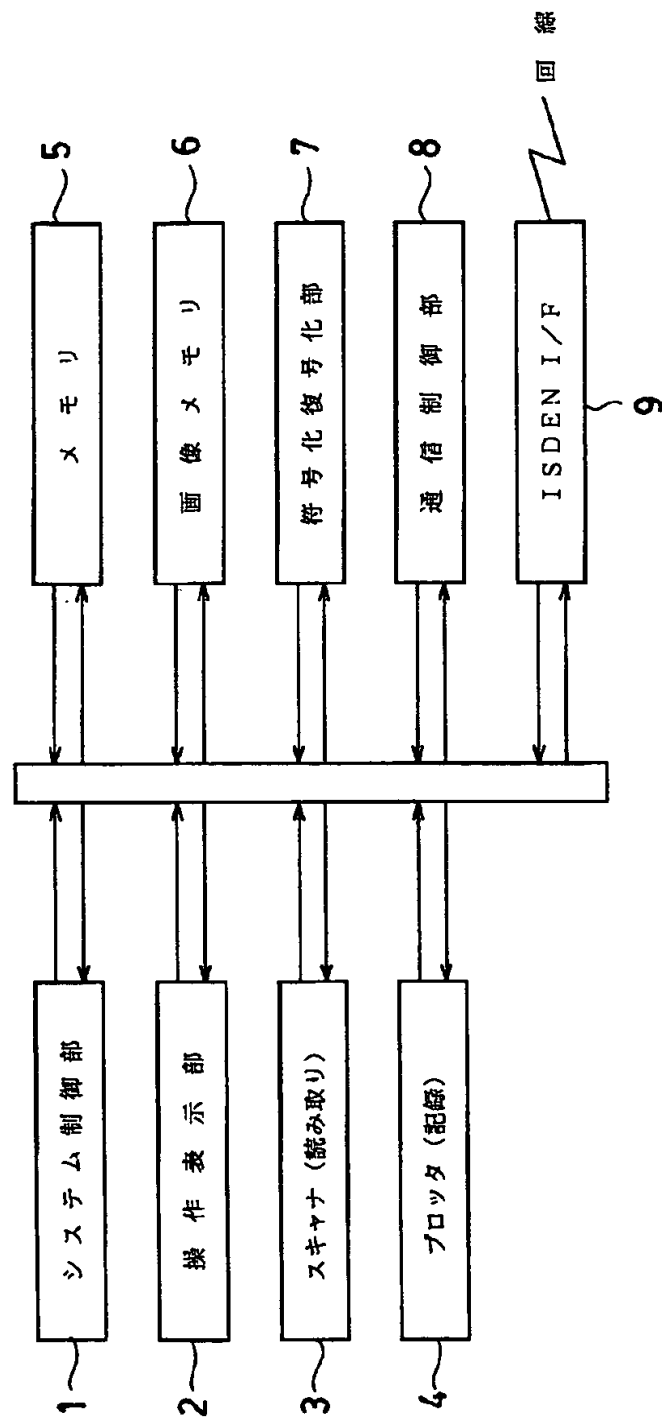
- 1 システム制御部
3 スキャナ
5 メモリ
7 符号化復号化部
9 ISDNI/F

- 2 操作表示部
4 プロッタ
6 画像メモリ
8 通信制御部

【図1】

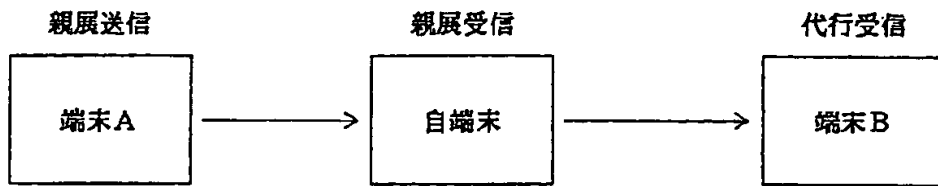


【図2】

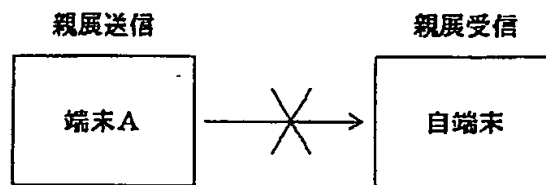


【図3】

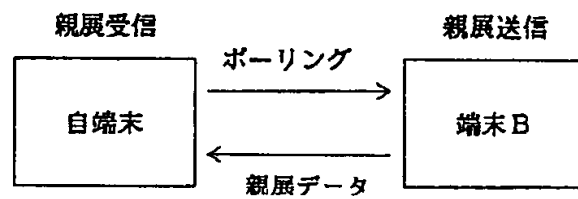
(a)



(b)



(c)



【図4】

